

## 大学院工学研究科修士課程 学生募集要項

### 本学における入学者受入方針（アドミッションポリシー）

長岡技術科学大学は、活力（Vitality）、独創力（Originality）及び世のための奉仕（Services）を重んじるVOSの精神をモットーとし、グローバルな技術展開のできる高度な実践的・創造的能力を備えた指導的技術者・研究者の養成を目指しています。この目的を達成するために、本学は、大学院のすべての入学者に対し、学士レベルの学修を継いで指導的技術者・研究者へと至る教育を行っています。

そこで、本学は入学を希望する学生に対し、次のような能力と資質を求めます。

- 1 技術や科学に強い関心を持ち、それにかかわる学習に必要な基礎学力をもつ人
- 2 知識をもとに思考を深め、それにより判断したことを適切に表現できる人
- 3 新しい分野の開拓や理論の創出、ものづくりに意欲を持ち、技術や科学を通じて社会に貢献したい人
- 4 自ら積極的に学習や研究に取り組み、問題解決のために多様な人々と協力できる人
- 5 優れた個性を発揮し、人間性が豊かで、責任感のある誠実な人

### 1. 募集人員等

#### (1) 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員			
		第1回募集		第2回募集	第3回募集 2
		一般 1	社会人	一般・社会人	一般・社会人
工学研究科	機械創造工学専攻	96人	各専攻 若干人	各専攻 若干人	各専攻 若干人
	電気電子情報工学専攻	96人			
	物質材料工学専攻	50人			
	環境社会基盤工学専攻	60人			
	生物機能工学専攻	47人			
	情報・経営システム工学専攻	35人			
	原子力システム安全工学専攻	20人			
計	404人				

1 学内推薦入試・学内学力入試を含む。

2 第3回募集は、第2回募集までの志願状況によっては実施しない専攻があります。第3回募集に出願を希望する場合は、事前に志望専攻が第3回募集を実施するかどうかを本学入試課入学試験第1係へ確認してください。

#### (2) 社会人入試について

社会人入試には、次の二つのコースがあります。

なお、在職のまま入学する者については、大学院設置基準第14条による教育方法の特例として夜間その他特定の時間又は時期に授業又は研究指導を受けることができる制度があります。（詳細は14ページを参照してください。）

##### 一般コース

一般的な社会人のための再教育のコースです。

## 長期履修学生コース

このコースは、職業を有していること等の事情により学習時間が制約され、標準修業年限内での修学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。

授業料については、通常の修業年限（修士課程2年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に均分して支払います。ただし、授業料が改定された場合、又は長期履修期間に変更があった場合には、改定又は変更時に授業料の見直しを行うこととなります。（詳細は13ページを参照してください。）

## 2. 出願資格

### (1) 一般入試

大学を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者

大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者

外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者

我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者

外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者

専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者

文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

平成30年3月までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得できる又は修得したと本学大学院が認めた者

本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び平成30年3月31日までに22歳に達する者

### (2) 社会人入試

#### 一般コース

ア 上記(1)の～の者で、平成30年3月31日において、企業等で2年以上職員として勤務経験のある者

イ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び平成30年3月31日までに24歳に達する者で、企業等で2年以上職員として勤務経験のある者

#### 長期履修学生コース

出願時において有職者、又は家事、育児に従事している者で、入学後その事情により著しく学習時

間の制約を受ける者であり、次のいずれかの出願資格に該当する者（見込者は除く。）

ア 上記（１）の ～ に該当する者

イ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び平成30年3月31日までに22歳に達する者

（注１）出願資格（１）の 、 、（２）の -イ、 -イに該当する者については、事前に出願資格審査が必要です。出願資格に応じた次の書類を下記の期日までに提出してください。なお、出願資格審査の結果は、第1回募集は5月16日（火）に、第2回募集は10月16日（月）に、第3回募集は12月19日（火）に大学から発送します。

第1回募集出願希望：平成29年5月8日（金）迄

第2回募集出願希望：平成29年9月29日（金）迄

第3回募集出願希望：平成29年12月1日（金）迄

出願資格審査は、提出された書類等を基に大学を卒業した者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。

なお、学歴・経歴によっては、下記以外の書類の提出を求めることがあります。

出願資格（１）の に該当の場合

- ・出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- ・在学証明書、成績証明書等

出願資格（１）の 及び（２）の -イ、 -イに該当の場合

- ・出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- ・学習歴を証明する書類（卒業証明書及び成績証明書等）
- ・実務経験及び国際的活動経験等を表す書類の写し（論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等）

（注２）長期履修学生コースを希望する者は、必ず13ページの長期履修学生制度の内容を熟読し、学務課教務係へ問い合わせたうえで、下記の期日までに関係書類を提出してください。

第1回募集出願希望：平成29年4月24日（月）迄

第2回募集出願希望：平成29年9月25日（月）迄

第3回募集出願希望：平成29年11月20日（月）迄

### 3. 専攻の選定等

入学志願者は、8ページの「12. 志望専攻・講座名」から、志望する1専攻を選び、併せて志望する講座と志望指導教員を選んでください。志望する指導教員は、可能であれば記入してください。

入学志願者は、出願する前に、本学で志望する専攻の講座の教員と相談してください。

（注）専攻及び講座の選定等にあたっては、別冊の「大学案内」及び本学ホームページを参照してください。

長岡技術科学大学HP：ホーム>>大学案内>>教育・組織一覧

ホームページアドレス：<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/soshiki/list.html>

#### 4. 出願手続

##### (1) 出願期間

**第1回募集：平成29年 6月 5日(月)～平成29年 6月 8日(木)〔期間内必着〕**

**第2回募集：平成29年 11月 1日(水)～平成29年 11月 6日(月)〔期間内必着〕**

**第3回募集：平成30年 1月 15日(月)～平成30年 1月 18日(木)〔期間内必着〕**

(注1) 第3回募集は、第2回募集までの志願状況によっては実施しない専攻があります。第3回募集に出願を希望する場合は、事前に志望専攻が第3回募集を実施するかどうかを本学入試課入学試験第1係へ確認してください。

(注2) 本学では、平成23年3月発生の東日本大震災(これに伴う東京電力福島第1原子力発電所の事故による避難を含む)及び平成28年4月発生の熊本地震の被災者に対する特別措置として、検定料の全額免除の制度を設けています。この制度の適用を希望する場合は、次のまたはを確認のうえ、検定料を振込む前に入試課入学試験第1係(電話0258-47-9271、9273)に連絡のうえ、申請手続きについて指示を受けてください。

出願者又は出願者の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が被災地域に居住し、かつその者の家屋が次のいずれかに該当する被害を受けた場合  
 ・全壊 ・大規模半壊 ・半壊 ・床上浸水 ・家屋流失  
 学資負担者の居住地が東京電力福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難区域等に指定され、居住を制限された状態にある場合

##### (2) 出願に必要な書類等

- a. 一般入試の出願書類は、1～10です。
- b. 社会人入試 一般コースの出願書類は、1～12です。
- c. 社会人入試 長期履修学生コースの出願書類は、1～10及び13、14です。
- d. 社会人入試において、教育方法の特例を希望する者は、更に15、16の書類の提出が必要です。

出願に必要な書類等	摘 要
1 入学志願票・受験票	必要事項を本人が記入してください。 写真は、正面上半身無帽(縦40mm×横30mm)で、出願以前3か月以内に撮影したものを所定欄に貼り付けてください。
2 検定料振込済証明書貼付票	「検定料振込済証明書」を貼り付けてください。
3 検定料(本学所定の検定料振込依頼書により振込)	<b>30,000円</b> 金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局を除く。)の受付窓口からの振り込みに限ります。(ATMは使用不可。) 振込手数料は、出願者の負担です。 検定料の振り込みは出願期間の始まる3週間前から行えます。 検定料を振り込んだ時に、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」と「受取書」を必ず受け取ってください。 「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 海外に在住し、本学所定の検定料振込依頼書を使用できない者は、必ず事前に本学入学試験第1係へ問い合わせてください。

4	成績証明書	出身学校の所定のもので厳封したもの 専攻科出身者及び大学編入者は、上記書類のほかに専攻科入学又は大学編入以前の出身学校の成績証明書も提出してください。
5	卒業又は修了(見込)証明書	出身学校の所定のもの
6	学位授与証明書又は学位授与申請(予定)証明書	大学改革支援・学位授与機構又は出身学校所定のもの 出願資格(1) - 等の該当者のみ
7	高度専門士の称号授与(見込)証明書	出身学校所定のもの 出願資格(1) - 等の該当者のみ
8	志望調書	必要事項を本人が記入してください。
9	宛名票	合格、その他の通知に使用しますので、5か所すべてに所要事項を記入してください。
10	返信用封筒(長形3号235×120mm)	本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、362円分の切手(速達郵便料金を含む。)を貼り付けたもの(受験票等の送付に使用します。)
11	在職期間証明書等	企業等での2年以上の勤務経験を確認できる書類
12	業績報告書	在職中に本人が行った業務内容の概要(1,000字以内・関係資料がある場合は添付してください。)。その他本人の業績を表す文書の写し(論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等)。
13	長期履修計画(写)	13ページの手続きの際に作成したものの写し
14	在職証明書	所属長の在職証明書(様式は任意)又はそれにかわるもの
15	特例措置希望書	必要事項を本人が記入してください。
16	推薦書	本学所定の用紙により、所属長が作成したもの

(注) 1. 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、記載事項の変更を認めません。ただし、現住所、受験のための連絡場所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

2. 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合

出願が受理されなかった場合

検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

〔返還請求の方法〕

下記担当まで問い合わせのうえ、「検定料還付請求書」(本学所定の書式)を入手してください。(窓口にてお渡しするか、郵送等によりお送りします。)

「検定料還付請求書」に必要事項を記入し、「検定料振込済証明書」を添付して、速やかに下記担当まで提出してください。

(担当) 〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学総務部財務課経理係

電話 0258-47-9215

FAX 0258-47-9040

返還には、本学で「検定料還付請求書」を受理した後、約1か月程度の期間を要します。

### (3) 出願書類の提出

出願書類等は、郵送又は持参してください。

郵送の場合：角形 2 号(330mm×240mm)の封筒により、書留・速達郵便とし、封筒の表に「修士課程出願書類在中」と記入してください。郵送期間を十分考慮のうえ、必ず出願期間内に着くようにしてください。

持参の場合：出願期間内の 9：00～17：00 に持参してください。

## 5. 入試方法

口述試験及び面接の各結果と提出された調書等の内容を総合して行います。

### (1) 口述試験

次の表のとおり、志願者が専攻しようとする学問分野において、学習に必要な基礎ができているか試問（板書等を含む。）を行います。

専攻名	試問内容（科目名）
機械創造工学専攻	機械工学に関する基礎的内容
電気電子情報工学専攻	(1) { 「電気磁気学」 「電気回路」 「情報数学」 } のうちから 1 科目 (2) { 「通信・情報」 「電力」 「物性」 } のうちから 1 科目 (1) (2)合わせて計 2 科目を選択。
物質材料工学専攻	「物理化学」 「無機化学」 「有機化学（高分子化学を含む。）」 「材料科学（金属工学を含む。）」           } のうちから 1 科目を選択。
環境社会基盤工学専攻	(1) { 「構造工学」 「コンクリート工学」 「地盤工学」 「水工学」 「土木計画学」 } のうちから 2 科目を選択。 (2) { 「環境リモートセンシング工学」 「大気水圏動態解析学」 「環境生物化学」 「水圏環境制御工学」 「廃棄物・有害物管理工学」 「材料科学（材料強度を除く。）」 「交通計画」 「都市計画」 } のうちから 2 科目を選択。 (1)または(2)いずれか一方を選択。

生物機能工学専攻	提出された志望調書の「特に研究したいテーマ」に関連する試問を行う（バイオサイエンス・バイオテクノロジーに関連する基礎知識の試問を含む）。
情報・経営システム工学専攻	提出された志望調書の「特に研究したいテーマ」に関連する試問を行う（情報、経営、社会・経済に関連する基礎知識の試問を含む）。
原子力システム安全工学専攻	提出された志望調書の「特に研究したいテーマ」に関連する試問を行う（原子力・エネルギー、放射線に関連する基礎知識の試問を含む）。

（注）社会人入試について

上記の当該試問に加えて、提出された業績報告書の内容についての試問も行います。

## （２）面接

### 6. 試験の日時及び場所

- （１）第１回募集：平成 29 年 7 月 4 日（火） 10:00 ～ 長岡技術科学大学
- （２）第２回募集：平成 29 年 11 月 21 日（火） 10:00 ～ 長岡技術科学大学
- （３）第３回募集：平成 30 年 2 月 1 日（木） 10:00 ～ 長岡技術科学大学

### 7. 合格者の発表

- （１）第１回募集：平成 29 年 7 月 13 日（木） 10:00
- （２）第２回募集：平成 29 年 12 月 7 日（木） 10:00
- （３）第３回募集：平成 30 年 2 月 15 日（木） 10:00

本学に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

また、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。本学のホームページアドレスは <http://www.nagaokaut.ac.jp/> です。

なお、「合格通知書」をもって、正式な通知とします。

（電話等による合否の照会には、一切応じません。）

### 8. 入学手続等

#### （１）入学手続

入学手続時には「所定の書類（誓約書、保証書等）」の提出及び「入学料等」を納入することとなります。

#### （２）納入経費

平成 30 年度入学者に係る具体的な金額は未定です。

参考	平成 29 年度入学者
	入学料 282,000 円
	授業料 535,800 円（年額）

## 9. 募集要項の交付

郵送を希望するときは、封筒の表に「修士課程学生募集要項（一般入試・社会人入試）請求」と記入し、返信用封筒を同封して、申し込んでください。

詳しくは、本学ホームページ（<http://www.nagaokaut.ac.jp>）をご覧ください。

返信用封筒：角形2号（330mm×240mm）の大きさのものを使用して、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、400円分の切手（速達の場合は780円分の切手）を貼り付けてください。

## 10. 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する事項

入学後の学務業務における学籍・成績管理

入学者選抜方法改善のための基礎資料

## 11. その他

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがありますので、十分注意してください。
- (2) 出願書類等を受理したときは、受験票、受験者心得を送付します。
- (3) 出願等に関して不明な点があるときは、問い合わせてください。

## 12. 志望専攻・講座名

研究科名	専攻名	講座名
工学研究科	機械創造工学専攻	機械情報・制御工学
		設計・生産工学
		熱・流体工学
		材料システム工学
		創未来テクノロジー
	電気電子情報工学専攻	電気エネルギーシステム・制御工学
		電子デバイス・フォトリクス工学
		情報通信制御システム工学
	物質材料工学専攻	物質機能工学
		材料設計工学
		エネルギー・環境材料工学
		バイオ複合材料工学
	環境社会基盤工学専攻	社会基盤デザイン
		社会基盤マネジメント
		防災システム
		環境マネジメント



	生物機能工学専攻	生物生産工学
		生物システム工学
		生物環境工学
		生物材料工学
	情報・経営システム工学専攻	ヒューマン情報学
		経営システム学
		ソーシャル情報システム学
	原子力システム安全工学専攻	安全技術
		安全マネジメント
		先端エネルギー工学